

丸建日報

発行所
株式会社 丸建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話 代表 092(431)5361 番
FAX 092(431)7613 番
購読料 1ヵ月6,300円

北九州支局 TEL093(921)5011
佐賀支局 TEL0952(62)2450
長崎支局 TEL095(827)5595
熊本支局 TEL096(363)1553
大分支局 TEL097(594)0518
宮崎支局 TEL0985(24)6688
鹿児島支局 TEL099(259)3426
<http://www.kyuukennippou.co.jp>

研究成果発表会開く

日本建設技術グループ

【佐賀】日本建設技術(株)(唐津市北波多、原裕社長)グループは8日、平成23年度(第8回)の研究発表会を写真1

を唐津市の唐津ロイヤルホテルで開催し、同社が提案する間伐材を活用した軟弱地盤補強工法や粉末ミラクルソルのゼオライト製造に関する成果を報告した。

発表会には全社員と来賓など約180人が出席。冒頭、原社長は「建設業、建設関連業の受注、経営環境は入札制度の改革で厳しさを増しているが、グループ各社の連携により、雇用を通じて地域社会に貢献していきたい。廃ガラスを再利用したミラクルソルも現在、21の工法を提案しており、更に今年度は粉末ゼオライトの商品開発に取り組んでいく。新しい材料、工法で環境時代に挑戦を続け、付加価値の高い建設業を目指した



い」と挨拶した。

成果発表では、同社技術戦略本部の林重徳氏が「間伐材を活用した軟弱地盤補強工法(ラフト&パイル工法)の開発」について発表。同工法は軟弱地盤における基礎を間伐材を多層に敷き詰めた筏と側方流動を抑える列杭で構築するもので、現在、有明佐賀空港で現場実証試験を行っている。

林氏は施工方法や解析結果などを解説し、「間伐材を大量に使用する同工法はCO₂の削減、更に将来的に持続可能な森林整備にも繋がる。今後は得られたデータを設計及び施工

マニユアルの作成に活かしたい」と話した。企画開発戦略本部の松尾保成氏は、ミラクルソルの製造過程で発生する2mmアンダーの活用方法として取り組む「粉末ゼオライト製造プラントの開発」について説明。陽イオン等の吸着能を持つ粉末ゼオライトの研究開発は、経済産業省の平成21年度ものづくり補助金の

採択も受けた。松尾氏は「製造装置の開発に成功し、今後はゼオライトを応用した商品開発とリサイクルの技術開発に取り組む」とした。

原社長は「2010年度のあゆみとサークルボード緑化工法」と題し、平成22年度の活動報告を行うとともに、間伐材とミラクルソルを用いた斜面緑化工法として提案する、サークルボード緑化工法の特徴や効果、施工フローについて説明した。

成果発表を終え、加藤特許事務所所長の加藤久氏は「研究開発はコストがかかり、思い通りにいかないものだが、何年も継続していることが素晴らしい。ミラクルソルの社会的認知度も高まっており、今後も既成概念にとわかれず、アイデアを出し、更なる普及に努めてほしい」と講評した。